

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4790100418		
法人名	沖縄医療生活協同組合		
事業所名	生協グループホーム安謝		
所在地	沖縄県那覇市安謝250番地		
自己評価作成日	令和4年2月24日	評価結果市町村受理日	令和4年5月24日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaitokensaku.mhlw.go.jp/47/index.php?action_kouin_you_detail_022_kani=true&amp;ligvosvoCd=4790100418-">https://www.kaitokensaku.mhlw.go.jp/47/index.php?action_kouin_you_detail_022_kani=true&amp;ligvosvoCd=4790100418-</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	運営推進会議内
所在地	
訪問調査日	令和4年3月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1人ひとりの生活スタイルやペースを大事にし、入居者の方々と職員を含めた共同での日々の生活において、個々の力を発揮できる場面作りに努めています。それぞれの方が一体感を実感できるような関係作りに取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・身体拘束に対して職員の意識は高く、3原則を確認しながら対応できている。
- ・フィードバックノートを活用し施設内で共有できる取り組みが行えている。
- ・オンライン学習(eラーニング)を毎月取り入れており学習の機会を計画的に取り組んでいる。
- ・利用者の個別担当制を用いて支援体制を整えている。
- ・定期受診等、受診時は施設の情報提供書を提出する事で医療関係との連携は上手く行えている。
- ・事故報告やインシデント報告などきちんと取り組んでいる。
- ・私物やテレビ等のこれまで使い慣れた私物の持ち込みができています。
- ・会議に参加した利用者様と家族様が親しみを感じている事が確認できた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(R3) 2021年 生協グループホーム安謝 (部署: 2階) (事業所まとめ)  
自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①理念を入口へ揭示し、双方で理念の共有を図る事で、ケアの統一を目指し QOL 向上に活用している			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	①これまでは近隣のスーパーに利用者と共に買い物に出掛けていたが、コロナ感染症予防にて外出は通院や散歩のみとなっている ②職場内で認知症に関し理解を深めるために学習会を行っている	地域の行事や自治会での三線教室が11月から再開しているが、感染対策を行いながら地域活動等に参加するのはどうか。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①2ヶ月に1度の開催は出来ている ②会議に参加できない時は、会議報告書で周知出来、情報の共有を図る事が出来ている	運営推進会議にて外部評価も取り組んでいく事で職員一人一人の立ち位置や利用者様の支援のあり方を見直すきっかけになると思う。 次回は目標達成に向けた取り組みを実践してみようか。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①市の担当者へ報告や相談等を積極的に行い指導や助言を頂いている ②「市とのやり取りが良く分からない」との意見も半数見られ、行政とのやり取りが上手く周知できていない	特に問題等の報告はありません。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①身体拘束廃止への取り組みに関するマニュアルを全職員が閲覧できるようにしている ②年2回の学習会で資質向上と意思統一を図っている ③玄関の施錠は、夜間帯以外は行っていない ④身体拘束を求めてくるご家族様に対しても、廃止に向けての取り組みを行っている事を伝えきちんと説明している ⑤現在、身体拘束は行っていない		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年度教育計画に基づき年2回の全体学習会を開催済。これまでの経緯を報告してもらった。 身体拘束に対して職員の意識は高く、3原則を確認しながら対応できていると感じている。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①年2回の学習会で知識を得ている ②入浴介助時に留意して身体観察を行っている		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待報告はありませんでした。年2回の学習会への取り組みも行っている様子が伺えました。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①年1回学習会に取り入れているが、自身で学んでいる職員以外は意識が低い ②対象になりそうな利用者へはケアマネから制度の説明を行い、現在2名の方が制度活用に向け支援中	地域包括支援センターから説明を受けた事があります。協力してもらい勉強会を依頼してはどうか。		
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①介護職は契約の際に立ち会う事はないが契約書やケアプランで確認している ②契約等に関して家族からの苦情はない			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①フィードバックノートや匿名での意見箱等を活用して要望を確認できる取り組みは出来ている ②運営に反映できているか分からないとの意見も少数あり、上記の活用方法が上手く説明できていない		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	フィードバックノートを活用し施設内で共有できる取り組みを確認できた。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①月1回の定例会議で提案できる機会を設け色々な発言あり ②なかなか言い出しにくい職員も少数いる事から声掛けしやすい環境を整備していく			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①年間目標の達成に向け半期に1度以上の個別面談で指導や助言もあり、きちんと評価してもらっている ②給与等についてもしっかり説明を受けている ③働きやすい環境はしっかりと整えられていると感じている		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	個別面談等で職場環境等の整備を行っている様子が確認できた。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①年間計画表が作成され毎月Eラーニング学習で資質向上が出来る環境を整えており、報告書を管理者にて確認し助言を行っている		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	オンライン学習(eラーニング)を毎月取り入れており学習の機会を計画的に取り組んでいる事が確認できた。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>①管理者は同業者と交流する機会はあるが介護職員は、コロナ感染症拡大防止にて交流が行えなかった</p> <p>②GH 連絡会のオンライン研修をとおして一部の介護職員は関わる事が出来た</p> <p>③今後は社会情勢を見ながら交流できる環境作りを確立させたい</p>	<p>まずはリモートを使っての交流から始めてもいいのではないか。</p>		
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>①互いに尊重する事で職員本意にならないように努めている</p>			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>①生活歴の把握が不十分な為に支援方法の確立がされていない</p> <p>②家族との関わりが途切れないよう努めており、必要時は電話にて報告している</p>	<p>アセスメントをしっかり行う事で寄り添った支援できないか。</p> <p>引き続き家族との交流支援は継続して行きましょう。</p>		
<b>II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>①話しやすい雰囲気作りは出来ている為に要望等はしっかりと伝える事が出来ている</p> <p>②個別担当制としているが、十分に把握しているかといえそうではない意見が多く、個々に寄り添った支援はまだ出来ていない</p>			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>①職場会議や必要時は朝会で個別の事例検討会を行っている</p> <p>②柔軟な対応で支援方法を変更しているがケアプランの作成までには至っていない</p> <p>③ケアプランを活用したケアの統一ができていない</p>	<p>多職種へ文章で依頼をしてみるのはいかがでしょうか。文章だと検討もしやすいと思う。</p>	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>多職種連携でのケアプラン作成が上手く行えていない様子が伺えた。</p>
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>①個別ファイルに記載でき、情報も申し送り簿等を活用する事で情報の共有が図れている</p>		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>利用者の個別担当制を用いて支援体制を整えている事を伺った。</p> <p>多職種連携でケアプランに反映できないか。</p>

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①GHの特性を伝える事で柔軟な支援が行える視点を持つことが出来ている	フィードバックノートを活用し本人・家族の意向を確認し把握している。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	①コロナ感染症拡大防止にて地域資源の活用が行えていない ②地域資源そのものを理解できていない為に学習会を開催していく	地域包括支援センターに地域資源の資料があるので提供します。活用してください。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①入居時に主治医の変更は必要ない事を説明している ②訪問診療や通院時に施設情報提供書を提供し連携を図り関係を築けている			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①入院前の様子は説明提供書を通して提供している。また退院時受入もスムーズに行えるようSWと定期的に連絡を取りスムーズに連携できるように取り組みは出来ている		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期受診等、受診時は施設の情報提供書を提出する事で医療関係との連携は上手く行っている様子。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①入居時点で説明同意書に署名捺印を頂いている ②体調の変化等に改めて意向を確認している ③職員は個別カルテに綴っている同意書等で本人家族の意向を確認している		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	看取りにも取り組み家族の信頼を得ていると感じている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①年1回はAEDや心肺蘇生法の訓練を行っているが、実際に対応できるかと不安を抱えている ②より大きな不安を感じている職員がいる為に個別に対応していく			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①年2回の訓練はきちんと行えている。また沖縄県主催の津波を想定した災害訓練も行い避難場所の通路や場所を把握した ②訓練後は報告書にて全職員が情報共有している	1回目の火災訓練はきちんと行っている事が確認できた。 次回の日程等、運営推進会議レジュメに進捗状況の記載をお願いします。	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	2回目の取り組みも行ったと報告を受けたが、今後は防災訓練の内容も会議内で把握したい。

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①接遇やプライバシー保護にも力を入れて指導や助言を行っている。また必要時は個別に面談を行う事で配慮した支援が行えるように努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	きちんと対応できていると感じている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①業務優先ではなく1人ひとりの意向を確認しながら本人に合った生活リズムで支援を心掛けている		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①毎食分を外注し真空パックされたチルド品を湯煎して提供しているが、味には満足していない ②盛り付けは一緒に取り組めていないが片付けは一緒にやっている ③おやつは出来るだけ手作りで提供できるようにし、調理も利用者で行えるようにしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染症対策にて食事に関する一連の動作が一緒に行えていないと確認した。 感染症対策を行いながらの支援は出来ないのか検討して欲しい。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①栄養バランスはきちんと計算されている。また食事や水分量はカルテに記載し摂取量把握に努め必要時は主治医や訪問看護師に報告している		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①毎食後の歯磨き支援や必要な方は訪問歯科診療にて清潔が保たれている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問歯科と連携出来ており会議内でも歯痛の報告はない事からきちんと支援は出来ていると感じている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①排泄確認表を用いて排泄のリズムを把握し個別支援に努めている。また可能な限りトイレでの排泄を支援できるよう用品の選定にも意識している ②便秘等でコントロール不十分な場合は主治医に相談し内服薬処方や適切な助言を頂いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄支援に関してトラブル等の報告はなく排泄確認表を活用してのリズム把握に努めている事は活用ツールから確認できた。会議の場でもより詳しく把握したい。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①基本的な週3回の入浴はあるが体調や気分によって回数や曜日の変更柔軟に対応している ②入浴に関しての苦情はない			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①就寝時間はそれぞれ違いやりたい事を尊重している ②日中も体調や気分に応じて休息の自由を本人の意思を尊重しているが、活動低下による身体機能の低下が起きないように努めている			
34	服薬支援	一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	お薬説明書が綴られた薬剤情報管理簿にて最新の情報を確認できるようにしている ②週に1回、訪問看護師による体調確認と服薬管理にて服薬に関するトラブルは減少している ③週に1度来所している薬剤師と連携し服薬管理に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事故報告やインシデント報告などきちんと取り組んでいる様子が伺えますが、服薬支援時の事故が気になります。しっかりと対策を行う事で事故を未然に防ぎましょう。	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①生活歴等の把握が不十分で張り合いや喜び、役割や趣味等の生きがい作りが上手く支援できていない	利用者の役割は施設にとっても都合がいい事も依頼しがちだが、先ずは取り組みを行う事で生活意欲を高め、そこからやりたい事や楽しみを探しましょう。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	①コロナ感染症拡大防止策にて近隣のスーパー等の外出が行えていない。また感染を防ぐ為、車両での集団移動が行えない ②個別に近隣の散歩は不定期だが行う事で気分転換を図っている	コロナ感染対策にてなかなか交流が行えない中、行っている散歩も地域交流の1つです。 再開した自治会での三線教室に参加してみてもどうか。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①個別対応している。所持している人はその都度、必要な物が購入できるよう環境は整えている			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①事業所の固定電話を無料開放している。またオンライン面会が行える環境を整え提供している			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①本人と相談し自立支援の観点と安全確保を視野に入れながら環境整備を行っている ②層や季節感を取り入れた物などを飾る事で、季節を感じられるよう取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ感染症対策にて施設内を見て回る事は難しいが施設発刊の新聞から様子が伺えた。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)						
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	遠慮がちの人からは出来ていると評価があり、思った事をすぐ伝えられる人からは、まだ支援が不充分と意見が半分に分かれた。十分に寄り添った意向が確認出来ない恐れがある		
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①その場での要望等には対処した支援は行っているが、生活歴や習慣等を把握したうえでの支援が弱い		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①主治医からの返書や情報を基に対応した支援が行われている ②病状に不安を抱えている人もおり不安を取り除く支援が十分に行っていない	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	訪問診療や訪問看護と連携し健康管理に努めている様子が伺えた。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①習慣を大切に利用者主体のもとに支援できている ②可能な限り活動せずにベッドで過ごしたいと話す方には主治医と相談し身体機能維持が行えるような支援を行っている		
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	①腕時計をしたり衣服を自身で選定したりできている ②テレビやタンス等、私物の持ち込みを許可しており馴染みの物を自室で使用できている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	私物やテレビ等のこれまで使い慣れた私物の持ち込みができる事を確認できた。



45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①コロナ感染症拡大防止の為に近隣のスーパー等に行く事は出来ないが、施設行事や施設周辺の散歩、1階の畑作業等、参加できている	コロナ感染症が気になる場所ですが感染対策をしっかりおこなう事で意向に沿った支援ができないでしょうか。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①楽しみ見事は出来ている ②できる事もやりたがらない為に役割探しの支援が上手くいっていない			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①交流が大好きな人同士は会話も弾み笑顔も多い。しかし苦手な方や支援が必要な方は生き生きと過ごす時間が少ない様に感じる		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①施設から外出しての交流はコロナ感染症拡大防止の為に行えていない。これまで通っていた美容室にも感染予防の為に通う事が出来ない	地域への交流は感染対策を十分に行う事で検討してもいいのではないかと。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①退所希望者がいない為に職員との信頼関係は築けていると思う	家族様とのコミュニケーションが良好だからなのではないでしょうか。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議に参加した利用者様と家族様が親しみを感じていると様子を伺う事が出来た。

(R3) 2021年 生協グループホーム安謝(部署:2階)(事業所まとめ)

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

「IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)」全体表

No.	タイトル	評価項目	利用者個票からの転記(自己評価のA、B、C、Dを記入)									記述
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)												
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	B	C	C	B	B	B	B	C	B	意向は確認でき沿った支援も行っているが不十分。個別担当職員と相談しながら支援していく必要がある
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	B	C	B	B	C	B	B	C	C	生活歴把握が不十分にて十分な支援が行っていない
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	B	C	B	A	A	B	C	C	B	それぞれ受けている印象が違う。不安がある本人へ更なるアセスメントを行い、穏やかに生活が送れるような個別支援が必要
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	B	C	B	B	B	A	A	C	C	ある程度出来ている。しかしそう感じていない本人もあり、個別での支援が必要
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	B	C	C	A	B	A	A	B	B	支援がきちんと行われている
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	C	D	C	D	D	C	C	B	D	コロナ感染症拡大防止の為に外出が容易に行えない為に不満を感じているが、可能な限りの施設行事を行う事で気分転換を掴ってもらえた
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	B	C	B	C	C	B	B	C	B	役割や身の回りの事など、積極的にすると、市損が強い人との差が確認できた。本人に合った役割やできる事を見出し、意図を理解していただくことで身体機能維持と楽しみが感じられるような支援を目指す
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができています	B	C	B	B	C	A	C	C	C	半数は生きがいを感じていないと確認できた。生きがいを探し出すために再アセスメントを聴取し意欲的に過ごせる様な支援が必要
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	C	D	D	D	D	D	C	C	D	コロナ感染症拡大防止の為に容易に外出が行えず交流する事が得られていない。社会情勢を確認しながら交流できる機会を設ける事が必要
49	総合	本人は、このGHIにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができています	B	C	B	B	B	A	B	C	C	ある程度満足できているが不満に感じている方の為に意向に沿った支援が必要

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 3階

## 「IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）」全体表

No.	タイトル	評価項目	利用者個票からの転記(自己評価のA、B、C、Dを記入)									記述
			301	302	303	304	305	306	307	308	309	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)												
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	C	B	C	C	C	B	B	C	B	・個々で新聞を取ったり、編み物をしたりする利用者もいる中で、毎日同じ活動の利用者もいる。 ・コロナウイルス感染対策の為、外出の要望に応えることは難しいが、利用者の訴えは傾聴しながら、本人・家族と連携しながら支援を行っている。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	B	C	D	D	C	B	C	C	B	・計画作成担当で、生活歴等アセスメントが閲覧出来るようにしている。利用者の中には、「歌が好き」「スポーツが好き」という利用者がいれば、レクに取り入れれたりしている。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A	B	B	A	B	B	C	B	B	・定期受診の支援や往診での医師・看護師との連携がある。また、診療の情報は職員間で共有している。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	D	C	C	D	C	B	B	B	C	・自立の高い利用者様は、自身が落ち着く場所(居室等)で過ごされている。見守りが必要な利用者様は、ルーティン化している部分がある。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができます	D	B	C	D	C	B	B	C	A	・利用者によって、テレビやラジオを持ち込んでいるが、利用者によっては、安全面を考慮して最小限の物しか置いていない方もいる
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができます	D	C	D	C	C	B	D	D	D	・コロナウイルス感染対策の為、外出支援は行っていない。施設では季節に沿った行事を企画・開催し、利用者が参加できる様支援している
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができます	B	C	B	B	C	A	B	B	B	・本人の状態やADL等を確認しながら、支援や役割作り等に取り組んでいる。洗濯物干しや食器拭き等職員と一緒に取り組んでいる。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A	C	B	A	C	A	B	B	C	・職員とのコミュニケーションを楽しみ、日々の体操、レクリエーションで意欲的な日々を送る事が出来る。また、利用者がそれぞれ

													の役割を持って、家庭的な環境の中で日常生活を楽しまれている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	D	D	D	D	D	D	D	D	C	D	・コロナウイルス感染対策の為、近隣との関わりが出来なかった。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	B	C	B	B	C	B	C	C	C		・コロナ禍で地域との交流は出来なかったが、職員と推する事で、笑顔が溢れる日々を送ることが出来ている。

(参考様式4)

事業所名： 生協グループホーム安謝

## 目標達成計画

作成日： 令和 4年 3月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	34	服薬支援についてのトラブルがある	服薬事故(誤薬・服薬忘れ)が無い	①職場会議にて手順書(マニュアル)の見直しや作成 ②マニュアル通りに支援できているか確認する ③支援内容を統一する ④毎月の事故対策会議を開催し情報を共有する ⑤インシデントをしっかりと報告する 2ヶ月
2	17	課題分析(アセスメント)と評価(モニタリング)が上手く活用できていない	多職種連携で良りよいケアプランの作成に取り組む	※個別担当者が中心となって取り組む ①家族や多職種と連携し情報収集する ②週に1度は本人に寄り添う時間を確保する ③支援内容を統一する ④評価し目標達成に向け課題を抽出する 6ヶ月
3	40	本人らしく過ごせていない	趣味・楽しみ・やりがい等を本人と一緒に探し出し、本人らしく過ごせる	※個別担当者が中心となって取り組む ①家族や多職種と連携し情報収集する ②週に1度は本人に寄り添う時間を確保する ③ケアプランに記載し支援内容を統一する ④評価し目標達成に向け課題を抽出する 6ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。